

| | | | |
|-------|---|------|--|
| 区分・種別 | 県指定有形文化財(工芸品) | | |
| 名称 | おおだち むめい 大太刀 無銘 | | |
| 所在地 | 今治市大三島町宮浦 | | |
| 所有者 | 宗教法人大山祇神社 | 管理団体 | |
| 指定年月日 | 令和6年2月16日 | | |
| 解説 | <p>刃長151.8cm 反り1.7cm、茎長82.9cmを測り、^{しのぎ}鑄造、庵棟、反りごく浅く、身幅広く、重ねは厚く、大鋒。生ぶ^{なかご}茎で、浅い栗尻の茎先に目釘孔が1つ。地鉄は板目に流れ肌を交え、淡く乱れごろの映りが立つ。刃文は匂口が締めり^くころに互の目刃が連れる。帽子は直ぐに入って先が乱れて返る。表裏に丸留に棒樋の彫物がある。</p> <p>本件は無銘で、製作者を特定することは難しいが、反りがごく浅い腰反りの太刀姿で、流れ肌を交えた板目に淡く乱れごろの映りが立つなどの特徴から、南北朝から室町時代初期の備前伝の作と考えられる。大太刀姿の刀身に長い茎を付した形状で、長巻が作製されるに至る過渡的なものと考えられる。刀身に錆による朽ち込み跡が見られるものの、製作時に近い姿をよく残して極めて健全で、鉄製の共鋸が付属している。</p> <p>中世における大太刀でほぼ製作当時のままで現存するものは稀で、大山祇神社に伝来する大太刀として、工芸史的にも貴重である。江戸時代中期の宝物帳にも記録がみられ、当社における奉納太刀の伝来の様相を知る上で重要な資料である。</p> | | |

